広報は十二月二八日嘱託員に配布

夜明け

稲作の反省

1苗つくり

昨年は田植機の普及により稚苗移植が増え、さらに直播栽培の面積が増えて、従来よりの水苗代による苗つくりはかなり減少した、今年もこの傾向は強くなると思われるが、これらの栽培型が何故増えるか検討してみる必要があるおそらく農家は省力が目的ではなく収量が多くなるからだと考えられる。増収になるとすれば、稚苗移植も直播も穂数確保が簡単であるからと思うが、反面ある時期には分けつが過剰となつてかえつて一穂につくモミ数は減少し、収量が意外と伸びなくなつていることは見逃がせません。この様に稚苗移植も直播栽培もさらに普通栽培にも共通して重要な事柄は幼苗期の管理です。よい粗質の苗が分けつを確実にとりモミ数を沢山残す稲になる最大の要素ですから、苗つくりを軽視して施肥で分けつをとることを考えたらその人の米作りは失敗です。最近は苗つくりを忘れた米作りをする人が多くなつています。そこで苗代の改善に今年は最大の努力と研究をしてほしいものです。粗質のよい苗とは根が多く茎は短かく太いもので活力が強いものですが、それを作るには幼苗期には充分に有機質と微量要素を含んだ土で育てること、換言すれば土つくりが苗つくりの最大の手段です。直播栽培においても苗代は本田初期に経過するわけですから、深播き、厚播きを避けて苗代と同じように、よい環境をつくることです。

2品質

昨年は気象的な要素により早生、中生種の収量は安定して、金南風程度からの晩生種は減収となりました。最近は品質の優劣が、とやかく云われるようになり、農家はこれらの点ばかり注目して自分の栽培品種を決めておられる傾向が強い、勿論前年の作況や品質も大切ですが、自分の栽培型や土地条件も充分考え決めてほしいものです。さらに近年は出穂期前後からチッソ肥料を多給するようになつており、穂イモチ病が発生しやすい環境で稲を栽培しておるので、穂イモチ病に強い品種を採用することと施肥方法が合理化され生育中期にチッソ肥料を制限するので地力のない田では、穂が極端に小さくなつて減収しておる。このような田では穂重型の品種を植付けるようにすることとです。一般的に町ではこのような田が多いと思われる。四十四年度の基幹品種は決定しておりますので、もう一度自分の計画品種と照し合せてみて下さい。

農家においてはいろいろな品種を集めておられるようですが目新しい品種を揃えるより基幹品種の中から自分の条件に一番合致したものを二－三品種選び出し、さらに品種の数をしぼると共に種子は毎年更新して常に新しいものを求めてほしいものです。

3環境つくり

土地つくりが忘れられているのではないでしょうか稲は毎年ほしいだけの養分を田の中から吸収しておりますが、我々が施す化学肥料は主な養分だけしか保持しておらず田は年々老朽化して秋落ち現象が目立つている。又長い間の耕転機利用で耕盤が出来、根は伸び難くなつている、今年は休閑中にスキ起しや含鉄資材有機物の投入を是非行い、土地の若返りをされること奨めます。その他水管理もかなり合理的にやられましたが、理想的な水管理とは、灌排水が自由に調節できることですから、水源の開発や水路の改修を地区毎に話し合いどこよりも安く、楽な米づくりができる環境整備を急がなければならないと思います。

（農協指導部）

昭和43年度米つくりコンクール入賞者(順位)

部落名	氏名	作付面積	総生産量	10a当収量
豊原	松岡 登	ア9813	5784	592k
下中小野	中野市江	10115	5928	588
下中小野	吉田一夫	12322	6744	549
豊原	大下千一	9300	5070	549
豊原	原田九一	8512	4620	545
上ゲ	木村和雄	12400	6672	542
豊原	的場勝義	10711	5748	539
豊原	福田 勇	11501	6060	531
上ゲ	石村利一	8823	4680	531
麓	岩本常一	7521	3990	531
下中小野	杉山武人	6520	3408	523
豊原	今田 豊	9717	5052	522
辻並	藤本松範	17909	9276	521
豊原	岡村正一	9415	4860	518
平野	田村米一	11825	6108	518
上ゲ	山村則男	8325	4308	518
豊原	山本義友	7429	3840	516
下中小野	福田 悟	7112	3643	514
豊原	西田 茂	13120	6660	510

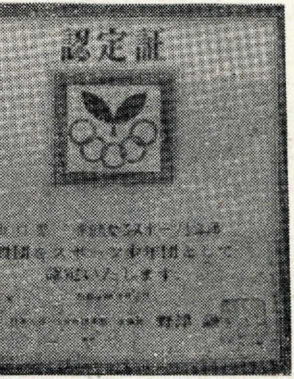
ブロイラー養鶏の現状

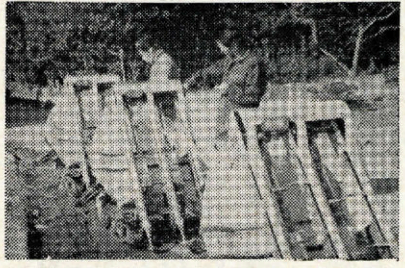
深川養鶏組合は農業構造改善事業で、種鶏舎一六棟、五、四五三、九平方M、事業費にして三、三五九万円、収容羽数一八千羽、ふ卵場は、二棟六八・七六平方M、事業費二七六一八千円、ふ卵機は三○台一八○万羽を生産。食鶏処理場は一棟の六二五七平方M、事業費二、六七三万円、一日処理能力五千羽、であります。（注、現代は年間一○○万羽一日当り三千羽程度）販路は北九州へ四○%、山陽都市へ五○%、地元へ一○%出荷しておるが、中でも販売会社をつくつて販売している九州では需要の五○%を満し得ない現状である。

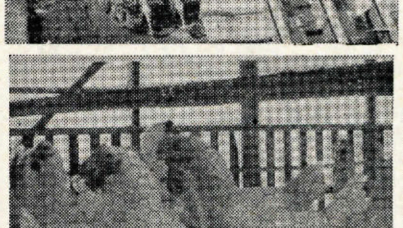
次に、ブロイラーの生産費について述べると常時一千羽を飼育する平飼の鶏舎の建築費は、建坪三○坪、工事費約五五万円、これで、五六日から七○日飼育し一、三Kから二、三kgにして出荷し、年間四回転、四千羽を生産するその経営費は、三隅の最近出荷した、農家の一例を抽出してみると、生産費でヒナ代一、三六○羽分が八二、五二○円、飼料代三二○、四九五円薬代一八、一三六円 光熱費二、○○○円．計四二三、一五○円、売上は、一、三四三羽出荷して五五二、二三九円（内訳は、雌六八一羽一、○九一K、雄六六二羽一、八○三、六K）で、差引、一二九、○八九円となつている。

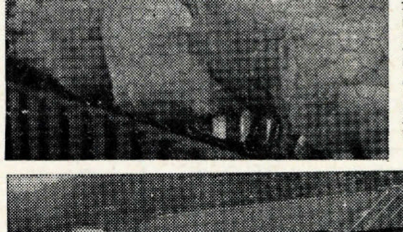
これを分析してみると、鶏肉一Kを生産するに直接費用が一四六円かかり一kgの売上代金が、雄雌平均一九○円であり差引四四円となる。一羽当りをみると、売上代金四一一円、生産費用、三一五円で九六円の粗利益となる。しかしこれは直接生産費用であつて経営とすれば、鶏舎の償却費及び投下資本の利子をみなければならない。仮に、鶏舎、五五万円とし、十年位で減価償却し資本利子をみると年間八万九千円位となり、生産羽数四千羽とすれば一羽当り二二円、肉生産、一K当り一○円位となる。そこで経営費を考える場合、直接生産費に、これを加え、考えねばならない。生産費と売上代の差が平均三○円保とれば、一羽で六○円、年間四千羽で、二四万円、これは一棟五五万円の投資だから二棟一一○万円投資なら四八万円。近代化資金の枠一つぱい借りれば、四倍一一二万円稼げる計算が成り立つ。しかも、所要面積は一○アールからである。今年は一千万円位近代化資金で投資され、経営拡大が進みつつある団地的には、下東方、大竹、津雲

（経済課）


認定証







説明

上から●町内五スポーツ少年団におくられた認定証。●下中小野では稲の刈取機を町の補助をうけ購入●鶏のブロイラー熱がたかまり、米の転換予定者も多い●年末最後の部落訪問駅伝大会のスタート

清風句会

うら寒しはだか電灯神楽舞　蓮水
鐘楼のすそをぼかして冬霞　康子
旅がへり目に古里の秋の海　千代
生命の神秘冬芽の一つにも　梨花
新婚に父と呼ばれて根深汁　一平
意義深き明治百年年惜しむ　照枝
曽孫の二人となりて今朝の春　翁
短日や話し半ばで戻りけり　旬一
作務僧の今日一日を落葉掻き　行雄
面とれば白髪おきな神楽舞　元
父祖の田を守りて老の麦を蒔く　免史
針運ぶわが母に似ず秋灯下　鈴
ノーベルの偉業輝く菊の朝　九重
風邪に寝て畏友の訃報ききもらし
初詣若き弥宜打つ太鼓冴え
船医より数の子昆布というものを

選者　雲仙

次は一月十一日（土）です雑詠をお寄せ下さい。

社育体会

記録と反省

●スポーツ少年団認定証団旗授与式及び交歓大会

スポーツ少年団の認識をたかめ、自主的な運営による活動を充実するため、今年結成された宗頭、市、浅田の各団の指導者及び少年団員約百三十名が公民館に集い、日本スポーツ少年団本部より送られた認定証と国旗の伝達授与式を行つた。お祝として町から交歓球技大会用優勝カップ二個と体育協会より記念鉛筆が贈られ少年達は大喜び。式のあと8月に行われたスポーツ少年全国大会（山梨県）と山口県大会（山口市）に参加した団員より報告があり、日頃の活動をおさめた公民館製作の8ミリ映画やソフトボール、ドッヂボール、バレーボールの親睦試合など楽しい半日を過した。大人の指導者は育成上の諸問題について研究協議のあと二月にサッカーとバドミントンの地域団対抗の球技大会を実施することをきめた（十一月三日）

●青年ハイキング

健全なレクリエーションとして自然に親しみ、協調性を養い、体力の増進をはかろうと青年男女約四十名が町内日尾山臼が台に登つた。朝から長門農業改良普及事務所生活改良普及員の指導でハイキング向き弁当料理実習を行つたあと、山頂で試食したのちゲーム、バレーボール、山芋堀りとさわやかな秋空のもと思いつきり生気をつちかつた。（十一月三日）

●町内部落訪問駅伝大会

滝坂公会堂前から町内一巡して公民館前まで全長二十二、六キロを中学生、高校生、一般の混成八チームが参加。強健な体力と根性を養うのがねらいで、成績は次の通り。

団体
一位　中村大竹正楽寺久原A
二位　滝坂、一瀬、中畑
三位　上、下中小野、麓

区間賞　◎　新記録
一区　山本英雄
二区　河辺保則
◎三区　上田哲治
四区　秋本敏明
五区　坂本寿和
◎六区　熊野忠晴
七区　木原正男

躍進賞
滝坂　一瀬　中畑チーム
（十二月二十二日）

●これからの予定

一月
◇萩市駅伝選手派遣
◇婦人会卓球大会
◇一般卓球技術講習会及び卓球大会

二月
◇バドミントン大会
◇スポーツ少年団球技大会
◇長門大津市町村訪問駅伝
◇江崎－下関山口県縦走駅伝競走選手派遣

三月
◇一般及びバレーボール大会
◇体力づくり講演会

勲記勲章伝達

第三十回発令
勲六等　単光旭日章
藤井政雄殿　木村弥二郎殿
勲七等　青色桐葉章
西村忠久殿　田中清次殿
田中頼之殿　田中歳行殿
前田作治殿
勲八等　白色桐葉章
宇山　弘殿　森永誠市殿
北田恭三殿　田村伊三次殿
辻野正玄殿　吉見隆次殿
角木俊介殿　木村伊八殿
伊藤栄八郎殿　松田多持殿
光永武雄殿　村岡　保殿
大谷　卓殿　鷲尾泰道殿
山本　潔殿　吉村清一殿
山村美輝殿　山城正吾殿
森沢五郎殿　清水菊太郎殿
篠原義助殿　村田正二郎殿
大草光明殿　山村米蔵殿
岡　伝治殿　三島作一殿
藤田一郎殿　新町貞一殿
藤田朝一殿　松田　豊殿
溝部　寿殿　山木芳雄殿
第三十一回発令
勲六等　単光旭日章
竹野正清殿

民生委員選任

昨年十二月一日付で新らしい民生委員（児童委員兼務）が選任になり、地域社会福祉の奉仕者として活動されます

委員名	担当区
粟畑貞太郎	滝坂、一の瀬
増田琢雄	中畑、もみの木 杉山
行村芳江	追分、宗頭
山下長治	兎渡谷、麓
篠原　勝	上中小野
兼重　香	下中小野、辻並
古屋正資	市
金子一雄	中村、大竹正楽寺
内山芳二	土手、広田、久原
平田卯三朗	生島、津雲、飯井
池信大融	野波瀬西
松野美津子	野波瀬東、室生
長峯不可止	小島、下東方
三原祥祐	上東方、向山、豊原西
河内信雄	豊原東、二条窪
原　和子	浅田
青山常次	上ゲ、平野
宮田米雄	沢江

お知らせ

善意に感謝

◆寿大学互助会

一○○○円	故　大津キヨ
三○○○円	故　平川モト
ファミリーチェアー	寿大学互助会
デーライト・スクーリン	故　兼頭ツヤ 故　田辺秀雄

あとの二点は何れも老人福祉センターに備付け